

ぷかぷか

2023年

10月号

No.158

しんぶん

少しづつ涼しくなってきましたね。

おかわりありませんか？ ぷかぷかしんぶんをお届けします。



NPO法人ぷかぷか
045-453-8511 横浜市中区霧が丘3-25-2-205

NPO法人ぷかぷか 検索

レポート演劇ワークショップ 301

この演劇が見られるのは、
1/28(日)の表現の市場です!

1. 兵隊さんゲーム

左右好きな方へ 敬礼しながら番号を送ります。
「4」のつく数字は声に出しません。
ちょっと難しかったけど、いろんな敬礼ポーズが
生まれて おもしろかったです。



2. ジェスチャー伝言ゲーム

ことばは使わずに お題をジェスチャーで伝えていきます。
同じお題でも チームによって表現が 様々です。
途中で動きが 変わってしまうと うまく伝わらないことも!?



3. ねずみの 耳としいぽを作る

今回の演劇の題材『フレデリック』
は、ねずみたちの物語です。
ねずみの 耳としいぽを手作りしました。
みなさん、時間を忘れて夢中になって
取り組んでいましたよ。



4. おひろめ会

耳としいぽができたら、
みんなに おひろめをしました。
ランウェイを一人ずつ歩いて
決めポーズ!!
自分の耳としいぽの
お気に入りポイントなども発表しました。



ぶかぶかさんと 地域のみなさんでお芝居をつくる取組み「演劇ワークショップ」
が 8月から始まりました。ぶかぶかしんぶんの 9月号より、その様子をご紹介します。
今回は、9月16日に行われた 2回目のワークショップをレポートします。
演劇の題材は、レオ・レオニの絵本『フレデリック』です。

5. 歌 「だれがこおりをとくすの?」

NEW 「ぱいふいふいふん」

NEW 「ちょうちょうさん」 ああ……

新しく夏の歌と春の歌を
歌いました。
「ぱいふいふいふん」と
「ちょうちょうさん」はどちらも
まどみちおさんの詩です。

6. ぶかぶかさんとダンス

今回も午後一番に ダンスの時間がありました。
ダンスのお手本は ぶかぶかさんが 担当しました。



7. ねずみになってシーン創作

食べ物を運ぶ → ピンチに遭遇する → その後どうする!? という流れを
チームで お芝居にしました。

チーム① そうめん、チーズ、チキンレッグを持って来りパーティー

↓
姫がワシにさらわれた!

↓
ぜったいにはなさない! とワシにしがみつき
みんなで空を飛ぶ。姫を助けて地面に落ちる。

↓
チーズとチキンは食べられたが、そうめんが残っていた
ので、パーティーを開始!



チーム② チーズ、人参、かぼちゃを
運んで チーズケーキとサラダを
作る。

↓
いのししが 食べにきた!

↓
みんなで食べ物を囲んでガード。
いのししはあきらめて帰って行き、
ねずみたちはおいしく食べた。



チーム③ とんがりコーンに どんぐりを 拾って入れる。
そこへやってきたアイスクリーム屋さんが
コーンにアイスものをのせてくれた。

↓
強風が吹いてきた!

↓
アイスを食べてしのご。風が止み、
家へ帰ると またアイスクリーム屋さんがアイスくれた。



チーム④ 火焔からキャベツを運ぼうと
するが、重くて運べない。

↓
巨人がやって来た!

↓
でもおそろってこない。



↓
「キャベツ切っせ」とお願いして
みると、巨人が切ってくれて運びやす
くなった。実はいい人だったんだ!

10月のおすすめ

10月21日は土曜営業日です。

11月の土曜営業日は11月11日です。

かぼちゃチーズ

180円

パン生地、かぼちゃ、
チーズを重ねて焼きました。
のびのび発酵させ、ふんわり
焼き上げています。

おばけフーガス

230円

この時期だけに
店頭には並ぶぷかぷかの
フーガスは穂や木の葉の形
ではなくおばけの形です。
一つとして同じものは
ないので、かわいいおばけを
探しに来てください。

ぷかぷか農園

畑では、みんなを種付け
したところから元気な芽
たくさん出てきます。

これから気候も良くな
り
どんどん育ってくると
思います。



お知らせ

* スノーボールクッキーが
冬味になります。

* キャラメルナッツクッキー
再開します。

ぷかぷかさんの
おひるごはん

ランチのご予約は
045-922-6775

15時以降は
045-923-0282まで

☺ランチ 770円

☺お茶 250円

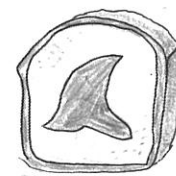
10月 ぷかぷかさんの
おひるごはんメニュー 2023

日	月	火	水	木	金	土
1 休み	2 親子丼	3 タコライス	4 お魚	5 グラタン	6 豚肉とキャベツのオムレツ炒め	7 休み
8 休み	9 休み	10 お魚	11 もちいしうまい	12 揚げめもの	13 チャーハン	14 休み
15 休み	16 ドライカレー	17 お魚のフライ	18 酢豚	19 からあげ	20 焼肉	21 お楽しみメニュー
22 休み	23 お魚	24 チキンステーキ	25 棒々鶏	26 コロッケ	27 ごぼう豚丼	28 休み
29 休み	30 ミートソーススパゲッティ	31 お魚	※メニューは変更になることがあります。			

おかし工房にじいろ



ダブル
シフォン



パウンドケーキ

今年もやってきました！
にじいろの
ハロウィンおやつ

クッキー



アート屋わんど

10月のワークショップ

カルタの絵を
みんなで描こう

10月21日(土) 10:30~12:00

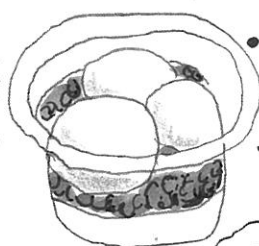
アート屋わんどにて

お申し込み 045-923-0282

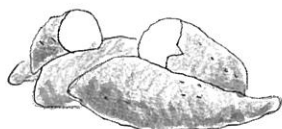
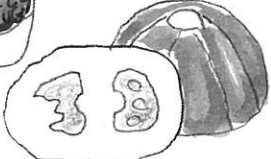
wando@pukapuka.or.jp



季節の 白玉



・あずき
・かぼちゃ
・さつま芋



くも

空が青いから白をえらんだのです

この詩を見て何を思いますか？

私はこのくっきりとしたコントラストが好きです。たった一行ですが、どんな思いでこの一行を書いたんだろうと思いました。

この詩は奈良少年刑務所に入所している少年が、更生教育の一環でおこなわれた「社会性涵養プログラム」の中で書いたものです。

作者のA君はふだんあまりものを言わない子だったそうです。ところがこの詩を朗読したとたん、堰を切ったように話し始めたと言います。

「今年でお母さんの7回忌です。お母さんは病院で『辛いことがあったら空を見て。そこに私がいるから』と僕にいてくれました。それが最後の言葉でした。

お父さんは、体の弱いお母さんをいつも殴っていた。僕、小さかったから、何もできなくて…」

この一行の中で少年はお母さんに会ってたんだ、と気がつき、涙が止まりませんでした。なんてピュアな少年なんだ、どうしてこんな少年が犯罪を犯したんだろう。

少年を犯罪に追い込んでしまった社会こそ、問われねばならないと思いました。ちゃんと話を聞いてあげる大人が周りにいれば、ひょっとしたら犯罪を犯さずに済んだかも知れません。そういうフォローがない社会を私たちは作ってしまった、ということをもっと忘れないでいたいと思うのです。

少年が自分の過去を語った時、教室の仲間たちが手を上げ、次々に語り出したそうです。

「この詩を書いたことが、A君の親孝行やと思いました」

「A君のお母さんは、真っ白でふわふわなんやと思いました」

「僕はお母さんを知りません。でも、この詩を読んで、それを見たら僕もお母さんに会えるような気がしました」

といった子は、そのままおいおいと泣き出しました。

みんな素敵な少年たちです。刑務所の外に、こんな素敵な少年たちがいるだろう、か、と思うのです。

高崎 明